

## 総合水研究所は水処理評価試験において

# 3つの改革を実行いたします

### 1

### 拡充

Expand

### 浄水器試験室の拡充

浄水器試験の処理能力向上を目指し、浄水器試験室の設備を拡充させました。より一層の納期短縮を目指します。

#### ● 浄水器試験室の処理能力比較

	従来	現在
原水タンク	1tタンク 2台+a	1tタンク <b>4台+a</b>
RO水造水量	約1,000L/h	約 <b>2,000L/h</b>

処理能力が約 **2倍** になりました！



#### ● 総合水研究所の浄水器試験の品質

家庭用浄水器の試験規格である JIS S 3201 の除去対象物質のうち、遊離残留塩素は試験全体において、また、クロロホルム、プロモジクロロメタン、ジブロモクロロメタン、プロモホルム、シス -1,2- ジクロロエチレン及びトランス -1,2- ジクロロエチレン、テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン、ベンゼン、溶解性鉛は測定方法（平成 15 年度厚生労働省告示第 261 号）において ISO/IEC 17025 認定を取得しております。今後も第三者認定機関の厳しい審査に挑戦し、高品質の試験が行えるよう努めて参ります。

### 2

### 挑戦

Challenge

### NSF/ANSI 42 クロラミンろ過能力試験の ISO/IEC 17025 認定への挑戦

2019 年に総合水研究所は NSF/ANSI 42 Chlorine reduction testing（遊離残留塩素ろ過能力試験）の ISO17025 認定を取得しました。

この度、さらなる認定拡大を目指し、同規格の Chloramine reduction testing（クロラミンろ過能力試験）の ISO17025 認定取得に挑戦します。



3  
開始  
Start

## 浄水器細菌除去能力試験に加え ウイルス除去能力試験の開始

総合水研究所では JIS Z 2801 を始め JIS S 3201、JIS K 3835 などの膜の細菌除去能力試験を実施してきましたが、新たに大腸菌ファージやバクテリオファージを使用したウイルスの除去能力試験が実施できるようになりました。

### ▶所有ファージ株リスト

#### Escherichial coil phage

- ・ ATCC15597-B1 (MS2)
- ・ ATCC23631 (Qβ)
- ・ NBRC103405 (φX174)

#### Pseudomonas syringae phage

- ・ NBRC105899 (φ6)

### ●実績 (2020年4月～2021年3月の1年間)

細菌試験 25件    ウイルス試験 20件

	試験内容	使用菌名
A社	UV照射試験	大腸菌ファージ MS2 大腸菌ファージ Qβ
B社	UV照射試験 (買い物カゴ)	大腸菌ファージ MS2
C社	捕捉性能試験	大腸菌ファージ MS2

### ▶規格番号と規格名称

JIS Z 2801	抗菌加工製品 – 抗菌性試験方法・抗菌効果
JIS S 3201	家庭用浄水器試験
JIS K 3835	精密ろ過膜エレメント及びモジュールの細菌捕捉性能試験方法
NSF/ANSI 42	Drinking Water Treatment Units - Aesthetic Effects

当社は、水道用器具・資機材の浸出性能試験や水の各種分析など、多数に渡って ISO17025 認定を取得しております。浄水器試験・浸出試験についてのご依頼、NSF 規格に関するご相談などはなんでも「みずけん」までお問い合わせ下さい。



日本水道協会 委託試験所 浄水器協会 認定試験機関

株式会社 **総合水研究所**

〒590-0984 大阪府堺市堺区神南辺町1-4-6  
TEL 072-224-3532 FAX 072-224-3257  
mail : sougou@mizuken.com

お問い合わせはフリーダイヤル

**0120-86-3345**

<http://www.mizuken.com>

受付時間 10:00 ~ 17:00